

インフルエンザ流行シーズンに突入！

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる感染症です。季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行がはじまると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月にかけて流行します。

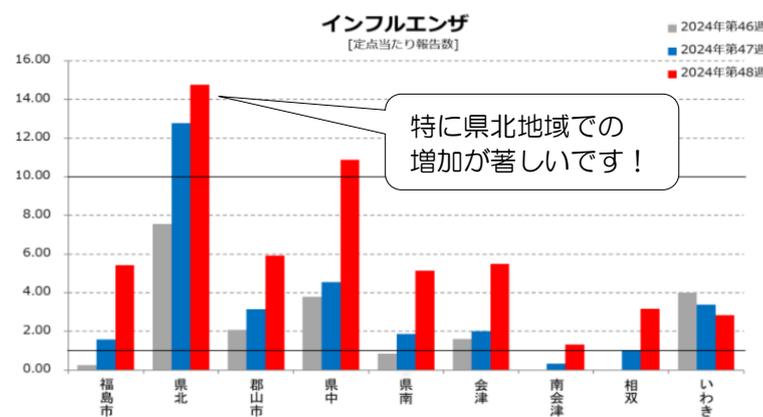
感染経路は

「飛沫感染」と「接触感染」

症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などが見られます。次の方は重症化リスクが高いため、注意しましょう！
高齢者/幼児/妊娠中の女性/
喘息のある方/慢性呼吸器疾患のある方

福島県内の定点当たりの報告件数が増加しています！



参考：福島県感染症発生動向調査

インフルエンザには、**基本的な感染対策が有効**です。

●ワクチン接種

インフルエンザワクチンは「発病予防」と「重症化予防」の効果があります。

●換気

換気の方法は、機械換気（換気システムや換気扇）と自然換気（窓開け）があります。

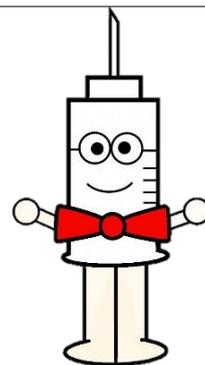
●手洗い・手指消毒

手の甲・指先・指の間は洗い残しが起こりやすいので注意！

手を洗ったあとは清潔なタオルで水分を拭き取りましょう。タオルの共有はNGです！

●マスクの着用

高齢者等の重症化リスクが高い人への感染を防ぐため、次の場面ではマスクを着用しましょう
医療機関受診時、高齢者施設等への訪問時、通勤ラッシュ時等混雑した電車やバスに乗車する時



インフルエンザ様症状がある場合は、医療機関を受診し治療を受けましょう。
インフルエンザに有効な薬は、症状が出てから48時間以内に服薬を開始すると、発熱期間は通常1～2日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。

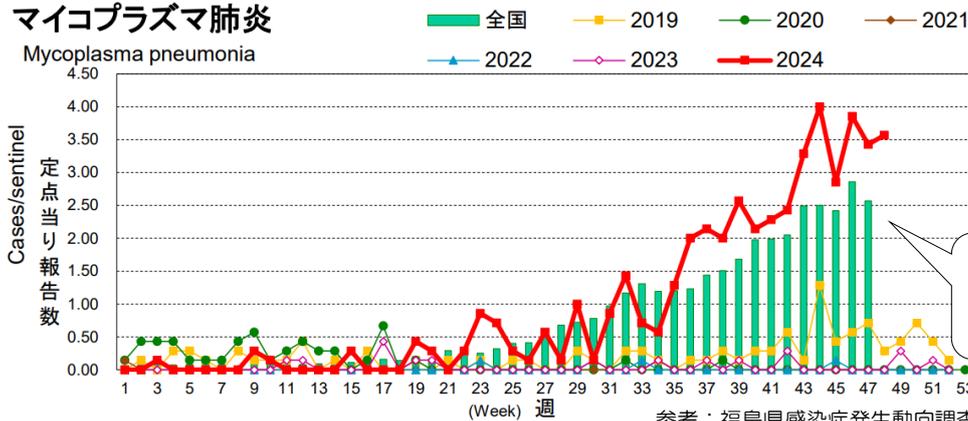


福島県内でマイコプラズマ肺炎が流行しています！

マイコプラズマ肺炎とは、肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる感染症で、小児や若年層を中心に流行します。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、冬にやや増加する傾向があります。

マイコプラズマ肺炎

Mycoplasma pneumoniae



福島県内において、**マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告件数が増えており、流行が続いています！**

全国平均よりも多い状態が続いています！



感染経路は

「飛沫感染」と「接触感染」

感染してから発症するまでの潜伏期間は、2～3週間程度です。

症状

発熱や倦怠感、頭痛、咳などが見られます。
咳は解熱後も長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴です。

マイコプラズマ肺炎には**抗菌薬**が有効です！

近年では、マイコプラズマ肺炎に通常使用される抗菌薬が効かない「耐性菌」が増えてきていますが、耐性菌に感染した場合は他の抗菌薬で治療します。

咳が長引くなどの症状がある場合は、医療機関を受診しましょう！



インフルエンザと同様、**基本的な感染対策が有効です！**

※マイコプラズマ肺炎に有効なワクチンはありません。

誰もが感染する可能性があるという意識をもって、一人ひとりが感染対策に取り組みましょう！



KENPOKU.KANSEN

感染症情報を発信していますぜひ、フォローしてください☆

発行日:令和6年12月9日

発行元:福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4108

ホームページ:検索キーワード

県北保健所